

令和元年度

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

目 次

令和元年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1	概要	1
2	事業活動の状況	1
3	会議に関する事項	12
4	役員等に関する事項	13
5	登記事項	14
6	常勤の役員及び職員に関する事項	14

令和元年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1	貸借対照表	16
2	貸借対照表内訳表	17
3	正味財産増減計算書	18
4	正味財産増減計算書内訳表	19
5	財務諸表に対する注記	21
6	附属明細書	22
7	財産目録	23

令和元年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1 概要

令和元年度は、市民等の健全な余暇の活用や観光振興に資する施設である、かごしま水族館の指定管理者として、引き続き効率的な管理運営に努めました。6月29日には、平成9年5月30日に開館して以来の累計入館者数が1500万人に達しました。

水族の展示等については、ジンベエザメの継続的な展示のため9月に入替えを行ったほか、ハンドウイルカが7月と1月に出産するとともに繁殖を見据えてゴマフアザラシの個体の交換を行いました。また、姉妹館である山形県鶴岡市の加茂水族館と連携して、姉妹館盟約締結5周年を記念した特別企画展を行い、普段見ることのできないクラゲ等の展示、関連イベントの開催や年間パスポートの相互利用など様々な取組を行いました。

学習交流活動については、これまでも実施しているさまざまな学習プログラムの更なる充実に努めたほか、かごしま環境未来館や平川動物公園等と合同で地球環境問題についてのシンポジウムを開催し、海洋環境を含む地球環境について考える啓発活動に協力しました。

広報宣伝活動については、県内の他施設と連携して旅行代理店訪問等を行い、積極的にPRを行ったほか、九州各県や関西・関東方面の学校等の誘致活動並びに県内や隣県の幼稚園・保育園訪問などに引き続き取り組みました。また、来館者の利便性の向上を図るため、QRコードを利用した多言語の動画サービスの導入や英語での館内放送を開始いたしました。

なお、新型コロナウイルスの対策のため、2月28日からは「いるかの時間」などの館内イベントをすべて中止して営業を行いました。

令和元年度の入館者数は622,877人、1日平均は1,721人、有料入館者数は493,074人、入館料収納額は524,220,575円となりました。(P8 別表1)

収益事業につきましては、水族館関連商品を販売するアミューズメントショップや自動販売機などの運営を行い、自主事業や広報宣伝事業の財源の確保に努めました。

この他、鹿児島市認定の環境管理事業所として、引き続きエネルギーの消費削減等に努めました。

2 事業活動の状況

(1) 公益事業

鹿児島市との協定に基づきかごしま水族館の管理運営等を行うとともに、水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与するため自主事業と受託事業を行いました。

1) 自主事業

① 水族館スクールの開催

水族に関する知識の普及や啓発を目的に水族館スクールを実施いたしました。

	実施日	タイトル	参加人数	合計
第1回	6月30日	体験！一日飼育係	31人	87人
第2回	11月24日	大人のための体験飼育係	24人	
第3回	1月26日	体験！一日飼育係	32人	
第4回	2月29日	大人のための体験飼育係	中止	

- ② ニュースレター「さくらじまの海」の発行
 展示生物の紹介やかごしま水族館のイベント・トピックス等を紹介する情報誌「さくらじまの海」を4回発行し、学校・団体等に配布しました。

- ③ かごしま水族館ボランティアの運営
 水族館での展示生物等の解説や障害者の介助を目的とするボランティアの研修を実施し円滑な運営に努めるとともに、令和2年度に向けて第23期生の募集を行いました。

ボランティア（平成10年から）	人数
第1期生～第22期生（令和2年3月末現在）	104人

- ④ 水族の保護及び保存に関する調査研究活動
 錦江湾内で鯨類調査を11回実施しました。

調査日	ミナミハンドウイルカ	調査海域
5月 7日	1群40頭	湾 奥
6月17日	1群10頭	湾 奥
7月 9日	1群20頭	全 域
9月 3日	1群30頭	湾 奥
10月 1日	2群45頭	湾 奥
10月 8日	1群30頭	湾 奥
11月 5日	1群40頭	湾 奥
12月10日	1群20頭	湾 奥
1月20日	発見なし	全 域
2月 4日	3群22頭	湾 奥
3月 5日	発見なし	湾 奥

2) 受託事業

- ① 敷地、建築物及び附属設備等の維持管理
 建物等の清掃、警備及び維持管理、諸設備の運転管理や保守を行うとともに、鹿児島市の「公共建築物ストックマネジメント事業」に基づき、20トンクレーン巻上減速機整備等を行うなど、計画的な建築物等の維持保全に努めました。

- ② 水族の収集、飼育及び展示

ア. ジンベエザメ展示

8月1日に下甕で捕獲された3.6mの個体を8月4日に南さつま市笠沙町沖の海上生簀に搬入しました。生簀での畜養を行い摂餌や排便等の飼育状況が安定したことから、9月6日に9代目を搬出後、10代目ユウユウとしてデビューしました。甕島からの輸送や展示個体の導入は初めてのことになりました。

イ. イルカ展示

4月3日に、平成17年から飼育していたハンドウイルカの「チーク」が、死亡しました。一方、7月11日には「カール」、1月3日には「テンテン」がそれぞれメスの赤ちゃんを出産し、「レイ」と「ハッピー」という愛称になりました。

ウ. ゴマフアザラシの繁殖に向けての取組

ゴマフアザラシの繁殖を目的に個体の交換を行いました。3月3日に当館のオスの「ゴマタロウ」を福岡市のマリンワールド海の中道へ搬出し、3月9日には、同水族館よりオスの「マスオ」を搬入しました。

エ. 令和にちなんだ展示

4月30日から5月31日まで、新元号「令和」にちなんで、1階エントランスホールで「カクレイワガニ」の展示を行いました。特設水槽には元号の発表に使われた「令和」パネルを模したものを準備し、写真撮影コーナーとしても賑わいました。

オ. 新規の館内展示水族

主な新規展示水族

展示開始日	生物名	展示開始日	生物名
4月24日	オイランヤドカリ	12月6日	ムシバチョウジガイ
12月6日	アカメ	12月6日	イッカクヒメセミエビ
1月31日	シロクラゲ	2月26日	プロカミアジェリー

③ 特別企画展等の開催

常設展示とは異なったテーマで様々なアイデアや趣向を凝らし、ポピュラーな話題から専門的なものまで深く掘りさげて情報提供するとともに、リピーターの方々にも楽しんでいただけるように、次の特別企画展等を実施いたしました。

特別企画展

	開催期間	タイトル
第1回	4月27日～ 6月23日	ようこそ！海中レストランへ ～本日も大にぎわい～
第2回	7月13日～ 9月30日	水族館で解決！海の自由研究まつり
第3回	11月2日～ 2月24日	加茂水族館×かごしま水族館 姉妹館盟約5周年記念特別企画展 「Jellyfish Dream ～クラゲ 夢世界～」
第4回	3月20日～ 8月31日	海の生きものの共生・寄生展 ～一緒にいるのはワケがある～

④ 体験型講座の実施

薩摩伝統の郷中教育の要素を取り入れた体験型連続講座「いおっ子海っ子体験塾」や、体験型講座「ワクワクきびなご塾」を実施したほか、学校及び団体向けのプログラム「いおワールド生きもの講座」、職場体験や学芸員等実習の受け入れを行いました。

	タイトル	実施回数	参加人数
1	いおっ子海っ子体験塾	12回	238人
2	ワクワクきびなご塾	11回	447人
3	いおワールド生きもの講座	200回	8,501人
4	職場体験学習	22回	66人
5	学芸員等実習	4回	4人
合計		249回	9,256人

⑤ 各種イベントの実施

定例の館内イベントのほか、次の特別イベントを実施いたしました。

	イベント名 (回数等)	内 容
1	いおの日 (16回)	毎月10日に手作り魚釣りや工作教室、絵本の読み聞かせなどのイベントやスタンプラリーを開催しました。
2	飼育の日イベント	4月19日の「419 (飼育)」の日にちなみイベントを行いました。
3	夜の水族館 (28回)	ゴールデンウィークや夏休みの土、日曜日、祝日とお盆期間、クリスマスに開館時間を21時まで延長しました。
4	黒潮大水槽バックヤード一般公開 (27回)	普段見ることができない黒潮大水槽の裏側を公開しました。
5	トワイライトアクアリウム (27回)	水槽照明を変更して、夜の魚たちの様子を観察できるようにするほか、館内のBGMの変更や館外にイルミネーションを設置し、普段とは違う雰囲気演出する「夜の水族館」限定のイベントを行いました。
6	水族館に泊まろう (14回)	ジンベエザメやイルカを眺めながら水族館に宿泊するイベントを行いました。館内のガイドツアーやバックヤード見学なども行いました。
7	星に願いを！ ～水族館で七夕飾り～	7月1日～8月7日の期間で来館者に短冊に願い事を書いていただき、9月15日に願い事をかなえるイベントを行いました。
8	プラネタリウム in 水族館	9月7日に、水槽の前でプラネタリウムを上映し、魚と星を観察しながら、魚や海に関する星座やサンゴ礁と月の関係など解説するイベントを行いました。
9	フォトコンテスト	水族館の生きものを対象にしたフォトコンテストを実施しました。応募数208作品 優秀作品32作品 展示期間11月30日～2月3日
10	みんなで描こう！鹿児島海 (25回)	描いた絵をスクリーンに投写して、泳がせるイベントを行いました。
11	スペシャルガイドツアー・バックヤードツアー (28回)	夏休みなどに飼育員による通常イベントよりさらに詳しく案内するガイドツアーを行いました。
12	ジンベエザメの食事をまちかで見よう (16回)	黒潮大水槽のバックヤードからジンベエザメの食事の様子を飼育員の解説付きで紹介するイベントを行いました。
13	ピラルクーにエサやり体験 (9回)	世界最大の淡水魚ピラルクーにエサを与えるイベントを行いました。
14	メガロパを探せ (5回)	ちりめんじゃこの中から小さなカニの赤ちゃん「メガロパ」を探すイベントを行いました。
15	ちりめんモンスター図鑑を作ろう (2回)	ちりめんじゃこに混ざっている様々な生きものたちを探し出すイベントを行いました。
16	潜水艇「はくよう」の中に入っちゃおう！ (12回)	「はくよう」の中に入って、潜水艇内の各種計器や装置を体験してもらいました。
17	みんなでイルカにタッチ (2回)	希望者全員がイルカにタッチできるイベントを行いました。
18	水路でイルカに合図を出してみよう (6回)	イルカ水路でイルカに合図をだすイベントを行いました。

19	イルカ館バックヤード一般公開 (17回)	イルカ館のバックヤードを飼育員の解説付きで紹介するイベントを行いました。
20	アザラシをまちかで見よう (2回)	ゴマフアザラシを水槽からまちかで見たり触ったりできるイベントを行いました。
21	ジンベエザメ帽子をつくろう (32回)	折り紙でジンベエザメの帽子を作るイベントを行いました。
22	館長と歩こう夜の水族館 (2回)	夜の水族館や水槽の様子を館長が案内するスペシャルガイドツアーを行いました。
23	紙粘土で海の生きものを作ろう (4回)	ジンベエザメやイルカ、ゴマフアザラシなどをカラー紙粘土で作るイベントを行いました。
24	星砂をさがそう (3回)	砂の中から星砂を見つけるイベントを行いました。星砂は小ビンに詰めてプレゼントしました。
25	ミニコンサート (5回)	黒潮大水槽の前でハンドベルやヴァイオリン、琴などのミニコンサートを開催しました。
26	すてきな海のキャンドルを作ろう! (4回)	カップに星砂や貝がらを入れたジェルキャンドル作りを行いました。
27	水族館で凧を作ろう!	1月2日に水族館の生きものを描いてオリジナルの凧を作るイベントを行いました。
28	アクアリウムディナー	12月11日に黒潮大水槽の前で本格フレンチディナーを楽しんでいただきました。音楽の生演奏や飼育員による生きもの解説も行いました。
29	アクアリウム night ヨガ (2回)	リビングかごしまと共同で、黒潮大水槽前でのヨガイベントを行いました。(女性限定)
30	水中写真の撮り方教室	6月1日に水中写真家 高久至氏による水中写真や水族館の魚を上手に撮影するための講座を行いました。
31	ドキュメンタリー映画 「～巨大生物 進化の謎～ ダイオウイカ大解剖～」(2回)	貴重な映像とともにダイオウイカの生態に迫るドキュメンタリーの上映を行いました。
32	ひろばで発見♪さかなの体のヒミツ (3回)	にぼしを解剖して魚の体のしくみを観察するイベントを行いました。
33	食育イベント 「鹿児島島の魚を食べよう」	8月4日に食育についての話やキビナゴを使った料理を親子で作って食べるイベントを行いました。
34	メイプル超合金スペシャルトーク ショー	9月8日に行われた「錦江湾潮風フェスタ」と連携し、タレントのメイプル超合金を招き、イルカ館でトークイベントを行いました。
35	水中ドローン体験	9月8日に行われた「錦江湾潮風フェスタ」と連携し、イルカ水路で水中ドローンの操作体験を行いました。
36	クラゲの夢のあかりを灯そう	手作りのクラゲの灯籠を作って館内に飾るイベントを行いました。
37	クラゲで新年を祝おう!～絵手紙 年賀教室～	12月26日に山口尚積氏を招き、オリジナルのクラゲの絵手紙を作るイベントを行いました。
38	クラゲの美しい写真を撮ろう	2月1日に平山ヒロフミ氏を招き、美しい写真の撮り方についての講座を行いました。
39	紙粘土でコバンザメをつくろう (2回)	特別企画展に合わせて、コバンザメを紙粘土で作るイベントを行いました。

※網かけは令和元年度初実施のイベント

⑥ 講演会等の開催

	開催日	講演内容
1	6月 8日	6/8は世界海の日！4園館合同企画・環境ミニシンポジウム 「沈みゆく国『キリバス・ツバル』の現状 ～鹿児島的小伙伴们にできること～」 講師：ケンタロ・オノ 氏 ((一社) 日本キリバス協会・代表理事) 遠藤 秀一 氏 (NPO 法人ツバルオーバービュー代表理事・ツバル環境親善大使)
2	7月15日	・パラサイトモンスターをさがせ ・知れば知るほどトリコになる 海の寄生虫のはなし 講師：上野 大輔 博士 (鹿児島大学助教)
3	8月 7日	海と日本 PROJECT 鹿児島のカサノヲを調べる ～カサノヲの解剖教室～ 講師：仲谷 一宏 博士 (北海道大学名誉教授)
4	10月27日	日本財団 チェスト!FOR THE BLUE 海ごみナイトアクアリウムイベント 「海のごみはどこへ行く～太平洋の真ん中で見つけたもの～」 講師：藤枝 繁 博士 (鹿児島大学特任教授)
5	1月11日	かごしま水族館特別講演会・鹿児島大学総合研究博物館 第37回市民講座「ミステリーサークルをつくる フグ」 講師：川瀬 裕司 博士 (千葉県立中央博物館)

⑦ 広報宣伝事業

入館者増に向けた広報宣伝活動として、九州・関東・関西方面や海外にも誘致活動を行ったほか、幼稚園・保育園訪問、テレビCMの放映などや、報道機関への情報提供に努めました。

ア. テレビCM等の制作・放送

ゴールデンウィーク、夏休みの観客誘致のために、15秒のテレビCMを制作し、県内及び熊本・宮崎県で合計896本放映しました。

時期	放送期間	本数	合計
ゴールデンウィーク	4月16日～5月 5日	366本	896本
夏休み	7月13日～8月18日	530本	

イ. 報道機関への情報提供

新たな展示水族等に関する「いおワールド情報」を報道機関へ提供し、新聞記事として掲載されたほか、テレビ等で報道されました。

ウ. 旅行代理店への誘致活動等

入館者増を図るため、旅行代理店や学校並びに幼稚園・保育園等を訪問し、誘致活動を行いました。

地域	訪問先	訪問件数	合計
九州地区	旅行代理店	49件	1,009件
	学 校	34件	
関東・関西・中国地区等	旅行代理店	45件	
	学 校	131件	
県内・都城及び熊本県南部	幼稚園・保育園	750件	

また、アジアの国々からの誘客を目的とした海外誘致セールス (中国・台湾) にも引き続き参加しました。

エ. その他

- ゴールデンウィークや夏休みなどのイベント情報を載せた水族館イベントチラシを作成し、市内・県内及び熊本・宮崎県の小中学校や幼稚園・保育園に配布しました。
- 電照広告看板をJR鹿児島中央駅や桜島フェリーに引き続き設置したほか、肥薩おれんじ鉄道にラッピング電車への広告を実施しました。また、高速道路利用者に対する広報も引き続き実施しました。
- 年間パスポートについては、イベントチラシ等により周知を図ったほか、新たに鹿児島交通の水族館・動物園線バスに平川動物公園と共同でラッピング広告を実施しました。
- 「かごしま水族館割引券」等の利用促進を図るため、県内のホテル・旅館104件を訪問しました。また、高齢者施設を233件訪問して入館者誘致に努めました。
- 県内外で行われたイベントなどでチラシ等を配布しました。

⑧ 多言語動画サービス「KX 鹿児島体験ムービー」の導入

来館者の利便性の向上を目的として、日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語の4か国語に対応した生きものや施設の解説動画が、館内に20か所に設置してあるQRコードをスマートフォンなどで読み取ることで視聴できるサービスを導入しました。

⑨ 職員等の採用

ア 職員

採用日	職種	採用人数
4月 1日	技術職員（展示・飼育）	1人

イ 嘱託員

採用日	職種	採用人数
4月 1日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	7人
	飼育	1人

(2) 収益事業

入館者の利便を図るとともに、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保するためにアミューズメントショップの運営などの付帯事業を実施しました。

① アミューズメントショップ等

水族館に関連する菓子やぬいぐるみ、文具雑貨等の商品を販売するアミューズメントショップの運営を行いました。

また、仙巖園との共通チケットの販売を行いました。

令和元年度売上額

アミューズメントショップ	203,983,282円（P10 別表2）
共通チケット	7,041,000円
合計	211,024,282円

② 自動販売機

入館者へのサービスに供するため自動販売機10台（展望ホール5台、イルカ館2台、屋外3台）の運営を行いました。

令和元年度販売手数料 9,492,950円（P10 別表2）

(別表1)

入館者の種別と入館料収納額

種 別		入館者数(人)	構成比(%)	入館料収納額(円)	
有 料 入 館 者	個人	大 人	231,834	37.2%	347,035,050
		小 人	48,059	7.7%	34,618,600
		幼 児	23,749	3.8%	8,246,280
		敬 老	2,859	0.5%	2,144,250
		観 光	40,342	6.5%	44,941,080
		小 計	(346,843)	(55.7%)	(436,985,260)
	団体	大 人	22,572	3.6%	27,086,400
		小 人	20,074	3.2%	12,042,500
		幼 児	3,711	0.6%	1,037,960
		小 計	(46,357)	(7.4%)	(40,166,860)
	市内学校 教育等	大 人	54	0.1%	40,500
		小 人	3,931	0.6%	1,474,125
		幼 児	5,158	0.8%	902,650
		小 計	(9,143)	(1.5%)	(2,417,275)
	年間 パス ポート	大 人	13,730	2.2%	37,944,000
		小 人	3,319	0.5%	4,535,850
		幼 児	3,372	0.5%	2,171,330
		小 計	(20,421)	(3.2%)	(44,651,180)
	年間2 回目 以降 以降	大 人	48,012	7.7%	/
		小 人	9,019	1.4%	
幼 児		13,279	2.1%		
小 計		(70,310)	(11.2%)		
有 料 合 計		493,074	79.0%	524,220,575	
無 料 入 館 者	個人	障害者手帳等	21,493	3.5%	/
		3歳以下等	89,483	14.4%	
		視察その他	5,441	0.9%	
		小 計	(116,417)	(18.8%)	
	団体	生徒等	4,718	0.8%	
		引 率	8,668	1.4%	
		小 計	(13,386)	(2.2%)	
無 料 合 計		129,803	21.0%		
合 計		622,877	100.0%		
平成30年度		676,363		558,419,445	
平成30年度比		△53,486	92.1%	△34,198,870	

入館者の状況

開 館 日 数	362 日	休館日	12月2日から12月5日まで
1 日 平 均 入 館 者	1,721 人		
1 日 最 多 入 館 者	10,447 人		4月30日(火)
1 日 最 小 入 館 者	190 人		3月3日(火)

月別入館者の状況

(単位：人，%)

月	開館 日数	有 料						無料計	月計
		大人	小人	幼児	敬老	年間パス (2回目以降)	小計		
4月	30	31,093	8,422	3,423	376	6,884	50,198	11,447	61,645
5月	31	41,039	15,141	3,093	388	7,810	67,471	19,152	86,623
6月	30	18,321	3,043	2,518	209	6,264	30,355	10,277	40,632
7月	31	26,533	6,035	3,364	238	7,178	43,348	11,236	54,584
8月	31	55,817	19,173	6,876	595	9,960	92,421	19,909	112,330
9月	30	26,109	4,700	2,957	129	6,665	40,560	15,659	56,219
10月	31	21,061	7,785	2,971	186	4,879	36,882	9,260	46,142
11月	30	17,325	6,219	2,219	165	4,163	30,091	9,204	39,295
12月	27	18,979	3,576	2,119	142	4,959	29,775	6,826	36,601
1月	31	19,868	3,592	3,316	240	5,520	32,536	7,879	40,415
2月	29	15,014	1,856	2,664	102	3,658	23,294	5,938	29,232
3月	31	10,864	1,889	931	89	2,370	16,143	3,016	19,159
計	362	302,023	81,431	36,451	2,859	70,310	493,074	129,803	622,877
構成比		48.5	13.1	5.8	0.5	11.3	(79.2)	20.8	100.0

(別表2)

アミューズメントショップ・自動販売機の状況

(1) アミューズメントショップの購買者数・利用率・売上額・客単価

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買者数 (B)	利用率 (B/A)	売上額 (C)	客単価	
				(C/B)	(C/A)
622,877	144,719	23.2%	203,983,282	1,410	327

(2) 自動販売機の購買回数・利用率・手数料額

(単位:人、円)

入館者数 (A)	購買回数 (B)	利用率 (B/A)	手数料額 (C)
622,877	159,153	25.6%	9,492,950

(3) 月別状況

	アミューズメントショップ		自動販売機	
	売上額(円)	構成比	手数料額(円)	構成比
4月	19,416,291	9.5%	789,451	8.3%
5月	31,307,394	15.3%	1,435,264	15.1%
6月	10,138,784	5.0%	537,940	5.7%
7月	15,624,691	7.7%	856,385	9.0%
8月	41,341,712	20.3%	1,978,784	20.8%
9月	18,225,628	8.9%	944,959	10.0%
10月	15,781,600	7.7%	641,206	6.8%
11月	15,002,777	7.4%	546,711	5.8%
12月	10,205,322	5.1%	390,122	4.1%
1月	11,310,076	5.5%	684,865	7.2%
2月	8,256,294	4.0%	441,145	4.6%
3月	7,372,713	3.6%	246,118	2.6%
計	203,983,282	100.0%	9,492,950	100.0%
平成30年度比	△ 12,909,500	94.0%	△ 1,152,080	89.2%

来館者アンケート調査結果（概要）

(1) 来館者の地域別状況

(単位：%)

地 域		調 査 日	
		7月27日(土) ～7月29日(月)	1月25日(土) ～1月27日(月)
市 内		27.8	36.3
県 内		20.1	28.6
県 外	福 岡	4.6	4.4
	佐 賀	0.8	0.5
	長 崎	3.6	1.1
	熊 本	7.4	9.9
	大 分	1.7	0.7
	宮 崎	8.9	6.6
	中国地方	3.2	1.3
	関西地方	3.4	1.9
	関東地方	8.5	4.3
	そ の 他	8.4	3.4
小 計		50.5	34.1
海 外		1.1	0.5
無 回 答		0.5	0.5
合 計		100.0	100.0

(2) 情報手段

(単位：%)

種 別	調 査 日	
	7月27日(土) ～7月29日(月)	1月25日(土) ～1月27日(月)
テレビCM	10.4	3.8
テレビ	2.5	1.5
新聞	1.5	0.9
家族	25.6	24.6
友人・知人	7.8	6.1
ポスター	1.2	0.9
ちらし	5.8	3.0
雑誌	3.9	3.2
ラジオ	0.4	0.3
旅行業者	0.9	0.3
ホームページ	7.0	4.6
フェイスブック	0.3	0.6
年間パスポート所持	9.3	22.5
特になし	17.9	21.3
その他	3.6	4.5
無回答	1.9	1.9
合 計	100.0	100.0

※ サンプル数は、

令和元年7月調査 2,611人

令和2年1月調査 845人

3 会議に関する事項

(1) 理事会

令和元年度の理事会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第1回	平成31年 4月15日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事・監事及び評議員選任に係る評議員会招集の件
第2回	令和元年 6月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任に係る評議員会招集の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社常務理事選定の件
第3回	令和元年 6月 7日	平成29年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支決算修正の件 平成30年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算
第4回	令和元年12月15日	公益財団法人鹿児島市水族館公社職員給与規程一部改正の件
第5回	令和2年3月13日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件 令和2年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和2年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算 令和元年度第4回評議員会招集の件

(2) 評議員会

令和元年度の評議員会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第1回	平成31年 4月15日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事・監事及び評議員選任の件
第2回	令和元年 6月 1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任の件
第3回	令和元年 6月24日	平成29年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支決算修正の件 平成30年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算
第4回	令和2年 3月23日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件 令和2年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 令和2年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

4 役員等に関する事項

(1) 令和2年3月31日現在の役員は次のとおりです。

役職名	氏名
理事長	森 博 幸
副理事長	松 山 芳 英
常務理事	山 口 順 一
理 事	岩 元 恭 一
理 事	犬 伏 和 章
理 事	佐 潟 隆 一
理 事	寺 菌 玲 子
理 事	中 村 耕 治
理 事	西 隆 一 郎
理 事	赤 星 貴 子
理 事	杉 元 羊 一
理 事	有 村 隆 生
監 事	高 橋 雷 太
監 事	牧 野 謙 二

(2) 令和2年3月31日現在の評議員は次のとおりです。

役職名	氏名
会 長	杉 木 和 子
評 議 員	岩 坪 恵 美 子
評 議 員	久 保 誠
評 議 員	倉 野 満
評 議 員	圖 師 俊 彦
評 議 員	中 尾 孝
評 議 員	日 高 好 治
評 議 員	眞 方 ゆ かり
評 議 員	本 村 浩 之
評 議 員	山 本 智 子
評 議 員	大 脇 俊 朗
評 議 員	成 尾 彰

5 登記事項

令和元年度の登記事項は次のとおりです。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
平成31年 4月26日	鹿児島地方法務局	理事・監事及び評議員の変更	平成31年 4月15日
令和元年 6月13日	鹿児島地方法務局	理事及び評議員の変更	令和元年 6月 1日

6 常勤の役員及び職員に関する事項

令和2年3月31日現在の人員は次のとおりです。

常務理事	事務局長	公社職員	嘱託員	臨時職員
1人	1人	30人	27人	31人
		館長 1人	アクアレディ	事務補助 3人
		総務課 10人	券売・案内・展示解説 15人	設備管理補助 1人
		課長 1人	商品販売・管理 9人	飼育補助員 10人
		主幹 1人		調餌補助 4人
		管理係		展示解説 13人
		係長（総務課長事務取扱）		
		事務職員 3人		
		施設係		
		係長 1人		
		主任 1人		
		技術職員 1人		
		企画営業係		
		係長（総務課主幹事務取扱）		
		事務職員 2人		
		展示課 19人	飼育 2人	
		課長（館長事務取扱）	事務 1人	
		主幹 1人		
		魚類展示係		
		係長 1人		
		主任 2人		
		技術職員 6人		
		海獣展示係		
		係長 1人		
		主査 1人		
		主任 1人		
		技術職員 4人		
		学習交流係		
		係長（展示課主幹事務取扱）		
		技術職員 2人		

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成19年法務省令第28号）第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和元年度事業報告の附属明細書については作成していません。

令和元年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	259,726,630	252,646,643	7,079,987
未収金	1,250,749	2,369,325	△ 1,118,576
商品	263,325	263,389	△ 64
貯蔵品	1,327,460	1,405,296	△ 77,836
流動資産合計	262,568,164	256,684,653	5,883,511
2.固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	168,618,798	155,270,498	13,348,300
減価償却引当資産	6,002,474	4,567,788	1,434,686
特定費用準備資産	5,643,000	4,639,000	1,004,000
特定資産合計	180,264,272	164,477,286	15,786,986
(3) その他固定資産			
車両運搬具	0	238,750	△ 238,750
什器備品	9,355,256	11,152,942	△ 1,797,686
電話加入権	226,408	226,408	0
預託金	0	8,070	△ 8,070
その他固定資産合計	9,581,664	11,626,170	△ 2,044,506
固定資産合計	389,845,936	376,103,456	13,742,480
資産合計	652,414,100	632,788,109	19,625,991
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	94,724,743	91,185,283	3,539,460
預り金	4,236,185	4,052,957	183,228
流動負債合計	98,960,928	95,238,240	3,722,688
2.固定負債			
退職給付引当金	168,618,798	155,270,498	13,348,300
固定負債合計	168,618,798	155,270,498	13,348,300
負債合計	267,579,726	250,508,738	17,070,988
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産合計	200,000,000	200,000,000	0
2.一般正味財産			
剰余金	184,834,374	182,279,371	2,555,003
一般正味財産合計	184,834,374	182,279,371	2,555,003
正味財産合計	384,834,374	382,279,371	2,555,003
負債及び正味財産合計	652,414,100	632,788,109	19,625,991

2 貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金	8,162,558	3,129,441	0		11,291,999
普通預金	124,408,959	123,322,138	703,534		248,434,631
未収金	349,853	1,893,376	0	△ 992,480	1,250,749
商品	0	263,325	0		263,325
貯蔵品	0	1,327,460	0		1,327,460
他会計短期貸付金	426,035	18,176,156	0	△ 18,602,191	0
流動資産合計	133,347,405	148,111,896	703,534	△ 19,594,671	262,568,164
2.固定資産					
(1)基本財産					
普通預金	200,000,000	0	0		200,000,000
基本財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当普通預金	165,620,298	2,998,500	0		168,618,798
減価償却引当普通預金	0	6,002,474	0		6,002,474
特定費用準備普通預金	5,643,000	0	0		5,643,000
特定資産合計	171,263,298	9,000,974	0	0	180,264,272
(3)その他固定資産					
什器備品	0	9,355,256	0		9,355,256
電話加入権	0	76,440	149,968		226,408
その他固定資産合計	0	9,431,696	149,968	0	9,581,664
固定資産合計	371,263,298	18,432,670	149,968	0	389,845,936
資産合計	504,610,703	166,544,566	853,502	△ 19,594,671	652,414,100
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	83,797,502	11,216,187	703,534	△ 992,480	94,724,743
預り金	4,236,185	0	0		4,236,185
他会計短期借入金	18,176,156	426,035	0	△ 18,602,191	0
流動負債合計	106,209,843	11,642,222	703,534	△ 19,594,671	98,960,928
2.固定負債					
退職給付引当金	165,620,298	2,998,500	0		168,618,798
固定負債合計	165,620,298	2,998,500	0	0	168,618,798
負債合計	271,830,141	14,640,722	703,534	△ 19,594,671	267,579,726
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	200,000,000	0	0	0	200,000,000
指定正味財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
2.一般正味財産					
剰余金	32,780,562	151,903,844	149,968	0	184,834,374
一般正味財産合計	32,780,562	151,903,844	149,968	0	184,834,374
正味財産合計	232,780,562	151,903,844	149,968	0	384,834,374
負債及び正味財産合計	504,610,703	166,544,566	853,502	△ 19,594,671	652,414,100

3 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取補助金等	755,350,011	747,411,534	7,938,477
事業収益	221,007,946	235,981,956	△ 14,974,010
受取寄付金	150,000	0	150,000
雑収益	2,529,661	2,522,979	6,682
経常収益計	979,037,618	985,916,469	△ 6,878,851
(2) 経常費用			
自主事業費	3,759,619	3,351,912	407,707
受託事業費	746,568,495	739,109,356	7,459,139
管理費	32,479,118	36,995,642	△ 4,516,524
収益事業費	190,299,816	197,741,636	△ 7,441,820
経常費用計	973,107,048	977,198,546	△ 4,091,498
評価損益等調整前当期 経常増減額	5,930,570	8,717,923	△ 2,787,353
当期経常増減額	5,930,570	8,717,923	△ 2,787,353
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
車両運搬具除却損	63,667		
経常外費用計	63,667	0	63,667
当期経常外増減額	△ 63,667	0	△ 63,667
税引前当期一般正味財産増減額	5,866,903	8,717,923	△ 2,851,020
法人税、住民税及び事業税	3,311,900	3,787,700	△ 475,800
当期一般正味財産増減額	2,555,003	4,930,223	△ 2,375,220
一般正味財産期首残高	182,279,371	177,349,148	4,930,223
一般正味財産期末残高	184,834,374	182,279,371	2,555,003
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0
III 正味財産期末残高	384,834,374	382,279,371	2,555,003

4 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取補助金等	0	729,441,783	729,441,783	0	25,908,228	755,350,011
管理受託収入	0	723,241,783	723,241,783	0	25,908,228	749,150,011
民間助成金収入	0	6,200,000	6,200,000	0	0	6,200,000
事業収益	0	0	0	221,007,946	0	221,007,946
館内販売事業収入	0	0	0	203,983,282	0	203,983,282
自動販売機収入等	0	0	0	17,024,664	0	17,024,664
受取寄付金	0	150,000	150,000	0	0	150,000
受取寄付金	0	150,000	150,000	0	0	150,000
雑収益	112,990	2,047,996	2,160,986	368,675	0	2,529,661
雑収入	112,990	2,047,996	2,160,986	368,675	0	2,529,661
経常収益計	112,990	731,639,779	731,752,769	221,376,621	25,908,228	979,037,618
(2) 経常費用						
事業費	3,759,619	746,568,495	750,328,114	190,299,816	0	940,627,930
役員報酬	0	3,061,908	3,061,908	553,588	0	3,615,496
報酬	0	42,468,358	42,468,358	19,453,783	0	61,922,141
給料	0	83,609,978	83,609,978	5,246,100	0	88,856,078
職員手当	0	71,661,296	71,661,296	3,950,502	0	75,611,798
臨時職員賃金	0	32,281,278	32,281,278	3,762,107	0	36,043,385
退職給付費用	0	13,776,000	13,776,000	283,000	0	14,059,000
福利厚生費	0	37,583,464	37,583,464	4,999,492	0	42,582,956
会議費	377,593	294,070	671,663	20,250	0	691,913
旅費交通費	308,360	5,915,463	6,223,823	0	0	6,223,823
通信運搬費	144,021	2,483,695	2,627,716	180,685	0	2,808,401
減価償却費	0	0	0	2,135,019	0	2,135,019
消耗什器備品費	0	4,763,506	4,763,506	0	0	4,763,506
消耗品費	831,799	31,984,582	32,816,381	3,063,694	0	35,880,075
水族購入費	0	3,860,504	3,860,504	0	0	3,860,504
飼料購入費	0	14,928,927	14,928,927	0	0	14,928,927
修繕費	0	23,235,570	23,235,570	0	0	23,235,570
印刷製本費	383,160	4,766,502	5,149,662	0	0	5,149,662
燃料費	0	33,937,207	33,937,207	0	0	33,937,207
光熱水料費	0	103,744,965	103,744,965	588,898	0	104,333,863
賃借料	1,543,110	11,398,304	12,941,414	1,758,736	0	14,700,150
保険料	25,560	386,702	412,262	43,370	0	455,632
諸謝金	0	441,330	441,330	0	0	441,330
手数料	146,016	7,594,385	7,740,401	277,351	0	8,017,752
広報宣伝費	0	20,767,396	20,767,396	0	0	20,767,396
租税公課	0	26,203,450	26,203,450	6,079,400	0	32,282,850
負担金	0	1,659,500	1,659,500	0	0	1,659,500
寄付金	0	200,000	200,000	0	0	200,000
委託費	0	163,510,155	163,510,155	968,878	0	164,479,033
館内販売仕入費	0	0	0	136,934,899	0	136,934,899
雑費	0	50,000	50,000	64	0	50,064

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
管理費	0	0	0	0	32,479,118	32,479,118
役員報酬	0	0	0	0	462,194	462,194
報酬	0	0	0	0	220,416	220,416
給料	0	0	0	0	11,049,350	11,049,350
職員手当	0	0	0	0	9,675,556	9,675,556
臨時職員賃金	0	0	0	0	2,267,814	2,267,814
福利厚生費	0	0	0	0	3,830,066	3,830,066
会議費	0	0	0	0	248,397	248,397
交際費	0	0	0	0	20,000	20,000
旅費交通費	0	0	0	0	206,840	206,840
通信運搬費	0	0	0	0	921,004	921,004
消耗什器備品費	0	0	0	0	25,380	25,380
消耗品費	0	0	0	0	252,544	252,544
修繕費	0	0	0	0	71,390	71,390
印刷製本費	0	0	0	0	1,452,120	1,452,120
賃借料	0	0	0	0	372,314	372,314
保険料	0	0	0	0	65,100	65,100
手数料	0	0	0	0	201,325	201,325
租税公課	0	0	0	0	215,508	215,508
負担金	0	0	0	0	749,000	749,000
委託費	0	0	0	0	172,800	172,800
経常費用計	3,759,619	746,568,495	750,328,114	190,299,816	32,479,118	973,107,048
当期経常増減額	△ 3,646,629	△ 14,928,716	△ 18,575,345	31,076,805	△ 6,570,890	5,930,570
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
車両運搬具除却損	0	0	0	63,667	0	63,667
経常外費用計	0	0	0	63,667	0	63,667
当期経常外増減額	0	0	0	△ 63,667	0	△ 63,667
他会計振替額	3,646,629	8,606,325	12,252,954	△ 18,823,844	6,570,890	0
税引前当期一般正味 財産増減額	0	△ 6,322,391	△ 6,322,391	12,189,294	0	5,866,903
法人税、住民税及び 事業税	0	0	0	3,311,900	0	3,311,900
当期一般正味財産増減額	0	△ 6,322,391	△ 6,322,391	8,877,394	0	2,555,003
一般正味財産期首残高	14,088,730	25,014,223	39,102,953	143,026,450	149,968	182,279,371
一般正味財産期末残高	14,088,730	18,691,832	32,780,562	151,903,844	149,968	184,834,374
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	214,088,730	18,691,832	232,780,562	151,903,844	149,968	384,834,374

5 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1)棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品は、移動平均法によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (3)退職給付引当金の計上基準
期末退職給与の要支給額を限度として計上している。
- (4)消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	200,000,000	0	0	200,000,000
小計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	155,270,498	13,348,300	0	168,618,798
減価償却引当普通預金	4,567,788	2,135,019	700,333	6,002,474
特定費用準備普通預金	4,639,000	5,643,000	4,639,000	5,643,000
小計	164,477,286	21,126,319	5,339,333	180,264,272
合計	364,477,286	21,126,319	5,339,333	380,264,272

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	200,000,000	200,000,000	0	0
小計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当普通預金	168,618,798	0	0	168,618,798
減価償却引当普通預金	6,002,474	0	6,002,474	0
特定費用準備普通預金	5,643,000	0	5,643,000	0
小計	180,264,272	0	11,645,474	168,618,798
合計	380,264,272	200,000,000	11,645,474	168,618,798

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	764,000	175,083	700,333	0
什器備品	15,357,730	2,135,019	6,002,474	9,355,256
合計	16,121,730	2,310,102	6,702,807	9,355,256

6 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、5 財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	155,270,498	13,348,300	0	0	168,618,798

7 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金等として	11,291,999		
	普通預金	南日本銀行本店	運転資金等として	248,434,631		
	未収金	信販4社他1社 カ・コーポトラーズジャパン 西洋フード・コンパグループ 携帯電話2社 DNPフォトイメージング 三井住友海上火災	クレジット・代引売掛商品代金等	750,533		
			販売手数料・光熱水費	275,008		
			館内レストラン光熱水費	114,222		
			館内設置アンテナ使用電気代	89,823		
			記念写真BOX利用料・電気代	13,435		
	レクリエーション保険還付金	7,728				
商品	売店	文房具、書籍など	263,325			
貯蔵品	売店	包装用品	1,327,460			
流動資産合計				262,568,164		
(固定資産)	基本財産	普通預金	南日本銀行本店	公益目的保有財産	200,000,000	
	特定資産	退職給付引当資産	普通預金	南日本銀行本店	公社員28名に対する退職金の支払に備えたもの	168,618,798
			普通預金	南日本銀行本店	収益事業の用に供している什器備品の償却引当資産	6,002,474
		減価償却引当資産	普通預金	南日本銀行本店	収益事業の用に供している什器備品の償却引当資産	6,002,474
	特定費用準備資産	普通預金	南日本銀行本店	避難階段整備費用	1,243,000	
				イルカ水路南エリア網整備費用	4,400,000	
	その他固定資産	什器備品	大型金庫1台	収益事業の用に供している	11,509	
			POSシステム	同上	2,331,000	
			店内構造物	同上	6,829,695	
			IPトランシーバ	同上	22,258	
両替機			同上	9,360		
バーコードプリンタ			同上	151,434		
電話加入権			2回線分	管理部門の用に供している	149,968	
1回線分	収益事業の用に供している	76,440				
固定資産合計				389,845,936		
資産合計				652,414,100		

(単位：円)

貸借対照表科目		債務の相手等	債務の内容等	金額
(流動負債)	未払金	AQUA他27社	ショップ商品仕入代金	3,944,133
		芙蓉商事	設備運転管理・清掃業務等	6,545,000
		日立プラントサービス		6,094,000
		鶴田機工	飼育・空調ポンプ修繕等	3,918,700
		明電エンジニアリング		2,508,000
		日本電設工業		2,499,750
		フタバ		2,079,000
		濱島印刷		1,597,640
		契約旅行代理店等	観光誘致手数料等	1,195,719
		九州総合警備保障	常駐・臨時警備業務	1,380,647
		NEXCO西日本コミュニケーションズ		1,065,618
		三菱電機ビルテクノサービス	本館昇降機保守点検等	1,064,250
		J Aエコパル	発電機燃料代3月分	2,539,433
		九州電力	電気料金2・3月分	10,999,695
		日本ガス	ガス料金3月分	2,078,335
		鹿児島市水道局	上下水道料金2-3月分	2,199,664
		他107社	各種商品・サービス、委託・修繕等	18,517,295
		当公社従業員	報酬・手当等3月分	5,739,289
		厚生労働省年金局	社会保険料3月分	3,067,875
	各税務機関	決算時諸税	15,690,700	
預り金	社会保険料		3,031,864	
	所得税・住民税		1,204,321	
流動負債合計				98,960,928
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公社職員28名に対する退職金の支払に備えたもの	168,618,798
固定負債合計				168,618,798
負債合計				267,579,726
正味財産				384,834,374

監 査 報 告 書

令和2年5月29日

公益財団法人鹿児島市水族館公社
理事長 森 博幸 殿

公益財団法人鹿児島市水族館公社

監 事 高橋 雷太



監 事 牧野 謙二



私たち監事は、公益財団法人鹿児島市水族館公社の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第8期事業年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関連する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以 上